



学校だより

令和4年12月1日
北区立稲田小学校
校長 吉田 友信

「作品がもつ力」

北区立稲田小学校
校長 吉田 友信

数年前、私は「作品がもつ力」に圧倒されたことがあります。それは旅先での出来事でしたが、大して下調べをすることもなく、ある美術館に入ったときのことで。しばらく進んでみると、人だかりができていて、「何の作品だろう。」と近付くと、見覚えのある大きな作品(縦:349cm、横:777cm)が目の前に飛び込んできました。その作品とは、『ゲルニカ』パブロ・ピカソ画でした。あまりの迫力に、私は10分以上その場から離れることができず、人だかりの一員としてじっくり鑑賞を続けました。私にとりまして、絵画作品にこれほどまで「作品がもつ力」を感じたことは初めての経験でした。後で調べてみますと、この作品は1937年4月、当時内戦状態にあったスペインの北部バスク地方の町ゲルニカが無差別爆撃されたときの戦闘場面が描かれているわけではなく、人々が戦争によって与えられる恐怖や苦しみ、悲しみが描かれているということでした。それ故に、かえって鑑賞する人々に訴える力が大きいのかとも感じました。

さて、12月2日(金)・3日(土)は、「見付けよう! わたしの世界 伝えたい! みんなの世界」をテーマに3年に1度の展覧会を開催いたします。全校児童が心を込めて完成させた、図工・家庭科・書写作品を展示しています。また、サブファミリー校の神谷小学校・神谷中学校児童・生徒代表作品コーナーもございます。

展覧会直前となった今週月曜日(11月28日)の全校朝会では、「チーム一枚岩『稲田小』で稲田小最後となる展覧会にしていきましょう。」と全校児童と教職員に向けて訴え、確認しました。さらに全校児童には、「最後まで丁寧に作品を完成させること」「作品がよりよく見えるよう丁寧に展示すること」「展覧会が終わっても持ち帰るまで丁寧に作品を扱うこと」と講話を行いました。

その後、準備中の展覧会場にて展示されている作品1点1点を見ると、どれも「作品がもつ力」にあふれた素晴らしい作品ばかりで圧倒されます。しかも、「うまい・うまくない」という基準で歩きながら鑑賞するのではなく、一人一人の作品を立ち止まって丁寧に鑑賞することにより、稲田っ子一人一人がその作品にこめた思いや感性が伝わってくると確信します。本校は全校で「心豊かな稲田っ子を育てること」を目指して教育活動に取り組んでいます。保護者や地域の皆様にも、ぜひ稲田っ子の心の豊かさや「作品がもつ力」を感じていただきたいと存じます。

◆12月の主な行事予定◆

1日(木)	安全指導	16日(金)	5時間授業 個人面談
2日(金)	展覧会(児童鑑賞日)	19日(月)	5時間授業(水曜時程、モジュールなし)
3日(土)	5時間授業(公開なし) 展覧会(保護者鑑賞日)	20日(火)	5時間授業 個人面談
5日(月)	振替休業日	21日(水)	児童集会 4時間授業 校内研究授業(1-1)
6日(火)	あいさつ運動始(4-2) 長縄月間始	22日(木)	4時間授業
7日(水)	4時間授業 区研究授業(1-2) 3年社会科見学	23日(金)	冬季休業日前朝会 5時間授業 長縄月間終 大掃除
8日(木)	クラブ 避難訓練	26日(月)	冬季休業日始
9日(金)	あいさつ運動終(4-2)	27日(火)~ 28日(水)	学校閉庁日
12日(月)	5時間授業 個人面談	1月4日(水)	学校閉庁日
13日(火)	5時間授業 個人面談	9日(月)	冬季休業日終
14日(水)	たてわり班遊び 児童集会	10日(火)	冬季休業日明け全校朝会 給食始
15日(木)	5時間授業 個人面談 おはなし会(6年、 1-1)		